

1月29日（水）アーバンホテル南草津において「地域里親学生支援」の事業の一環である「学外研修会・意見交換会」を開催しました。

研修会には里親の先生方、プチ里親、後援会役員、しゃくなげ会役員の方々にご出席いただきました。

今回の研修会では、立命館大学薬学部のエリカ 教授をお招きし「多職種連携の前に他職種を知る～立命館大学と滋賀医科大学の取り組み～」と題して、ご講演いただきました。立命館大学薬学部の特徴や、薬学部に求められているフィジカルアセスメントの実施、また、多職種連携や地域医療に求められる教育の必要性など卒前教育プログラムについて、里子（学生）にも分かりやすく、説明していただきました。

最後に『卒業後は、他職種を知ることが難しいため、学生時代から色々な職種を知ることや、意識していくことが大事である』とお話いただきました。

引き続き、和やかな雰囲気の中、里子も交え、意見交換や懇談が行われました。



エリカ 教授



講演の様子



懇親会の様子



記念撮影

お忙しい中、ご出席いただきました皆様、ありがとうございました。

※滋賀医科大学地域里親学生支援事業は、卒業後1人でも多く滋賀県内の医療に従事することを目的に、深刻化する地方の医師・看護師不足の解決を目指す取り組みを行っています。今回の研修会・交流会は、里親（県内で活躍されている医療従事者）・プチ里親（地域の皆様）・里子（この制度の登録学生）が交流し、医療人としての心構え、地域医療の現状などを伝える場として毎年1回開催しています。

（この研修は、NPO滋賀医療人育成協力機構との共催で実施しました。）